

電子黒板導入 各校全教室へ

あきたは
ここだよね
「秋田」と書きます。

「操作」

“映写された画面上”で
コンピュータを直接操作できます。
子供の集中力向上、先生の授業の
効率化にもつながります。

「書き込み」

写真映像など、コンピュータ画面
を通じてどこでも書き込みができ
ます。支持が明確になったり、や
り直しが簡単なのがよいですね。

電子黒板でできること最も代表的な
ものは「操作」・「書き込み」
の3つです。

「保存」

提示した画面も書き込んだ内
容も簡単に保存ができます。
前回授業の復習や子供の考え
を比較するときに便利です。



第17号

目次

各学校の取り組み	
嘉芸小学校便り	2
中川小学校便り	2
教育とは	3
学力向上対策実践報告会	4
給食残量ゼロ達成	5
卒業式特集	6
表彰関係	8
収益金ありがとう	9
ジュニア・リーダー研修	9
ウニココ楽団小公演会	10
スポーツ食育講演会	10
ミニサッカー大会	11
バスフェスティバル	11
講座開講式、サークル紹介	11
総体ポスター図案表彰式	12
編集後記	12



横をむかずみんな
電子黒板を見るね
集中してるね
感心！感心！

平成22年3月中に、電子黒板を各校全学級に導入します。電子黒板を活用し、学力向上に資するためにも、春休み中に、先生方が使いこなせるようにするための研修とそれと平行して教材開発を当面の課題として計画を推進しているところです。今後の取り組み、成果や課題等詳細は次号以降に掲載します。

「嘉芸小学校便り」「嘉芸っ子」より

表現する力は生きる力

嘉芸っ子発表会ののご参観 ありがとうございました

沿道の桜も校庭の桜もほころび始めました。一月三十一日には「嘉芸っ子発表会」にお出でいただき最後までご覧くださいましてありがとうございました。子供たちへは校長講話で「表現することは、あなた自身を表すことです」と表現が日頃の学習、日頃の生活を表すことであることを話しました。人間は、たった一人



では生きていけな
い社会的
な生き物
です。生
きていく
ためには、
他に自分
の思いを
伝えなけ
ればなり
ません。

「言葉で、表情で、声で、体で、様々な身振り」で。伝える力は、

一朝一夕にはできません。学校生活、家庭生活、地域での社会生活のすべてで、子供たちは、伝える言葉を獲得し、どのような声の使い方、どのような体の使い方、で伝えることが、より思いが伝わるか学ばなければ「思いの実現」に至りません。「思いの実現」すなわち、「夢実現」への一歩です。「表現する力」は「生きる力」なのです。

そのため
につけて
いく力で
す。「生
きる力」
をつける
ために、
取り組ん
できた学
校の部の
報告のあ



とに、読み聞かせを取り組まれてきた山城小百合様に「読み聞かせを通して」と題してお話していただきました。ありがとうございました。今後多くの読み聞かせの方々が増えてくださることを願います。最後に町教育委員会の山川指導主事より「諸学力検査結果では徐々に伸びてきている。学習に対する態度もよくなって

きている。家庭での取り組みで基本的な生活習慣もよくなってきている。課題として、時間を決めて行う生活リズムがまだまだなので、体と脳の関係からも十分な睡眠が取れるようにしましょう」と講評を賜りました。力いっぱい頑張った子ども達を讃えたのは、もちろんのことです。すばらしい子どもたちでした！

「中川小学校便り」「なかがわっ子」より

5年生：国語算数学力テスト

かなり優秀な成績!!

金武町教育委員会が実施している学力テストにおいて、本校5年生がすばらしい結果を出しました。

このテストは文部科学省が行う6年生対象の全国学力調査ではなく、また、県教育委員会が4年生を対象に実施している達成でもテストでもなく、町教育委員会が独自に行っている事業であります。問題作成は、全国学力テストも作成・採点・集計をおこなっていますベネッセコーポレーションです。目標値（問題を作成した会社のスタッフが、この提訴の正答率はだしてほしいと示した数値。）をかなり上回っています。資料として全国平均との比較はデータとしてはありませんが、おそらく上回っていると推察します。入学した当初からの指導及び本人達の頑張り、生活面などにおける家族の支援が功を奏したものだと思います。

全国学力・学習状況調査結果に翻弄^{ほんろう}されない

『教育とは』、幼児・児童・生徒が持っている様々な能力を引き出し、知識・技能・態度などを身につけさせ、幼児・児童・生徒がより良い方向へ発達し、望ましい姿に変化させ、その価値を実現する活動だと考えています。

全国学力・学習状況調査が実施されて以来、沖縄県の学力に愕然とし、「どうやったら上がる」「何故上がらない」等々焦燥感をもって責め立てているような感があります。

教育委員会と教育現場もこの現実を真摯に受け止め、内省し、「どうやったら学力が上がるか」という視点だけではなく、目指す教育のために、教育委員会・学校・保護者・地域が有機的につながり、幼児・児童・生徒のために協力や連携が図られる施策を練ることだと考えています。以前「くくむ」に掲載しました福井県と全国的に周知されている秋田県は、三年連続で全国一位・二位を分け合っています。両県とも「学力を上げる」

という視点での対策は特にしてないと言っています。先生の存在が大きい（先生方が信頼に足る熱意や果たしている役割が裏付けとなる）こと、子ども達が家族の一員としての役割を果たし、祖父母が時には親代わりとして相談相手になっていいる。地域とのつながりが強いということが共通しています。

金武町とは生活風土や生活環境が大きく違う、両県のような環境にするというのは難しいことではあります。両県の姿をヒントに、金武町の実態を踏まえた施策を立てていきたいと考えています。

町学力向上対策を推進する中で、現五年生は、昨年度（四年生時）標準学力調査（小学校二年～中学校三年対象）の結果で、三段階評価（三：満足 二：概ね満足 一：努力を要する）の中で一と評価された割合が国語六四・三％算数五〇・七％と示されました。その課題を分析し、各学校において校長・教頭を含めた全校体制で個別や少人数指導等を実施してまいりました。

その成果として一の評価は国語五一・七％（一二・六％改善）算数四六・二％（四・五％改善）が示され、それと各校で底上げが図られました。来年度の全国学力学習状況調査に期待を寄せているところです。町学力向上対策委員会の目標は「園児・児童・生徒一人一人に確かな学力などの生きる力をはぐくむ」を掲げております。

二月二十四日開催した講演会「学力づくりと家庭づくり」では、招聘された小河勝先生（大阪府教育委員）の熱い講演に先生方は心が動かされたようです。小河先生は「学力低下の直接の原因」「つまずきの実態」等々の科学的分析や一〇〇マス計算等の単純な反復学習が脳の活性に優れている等脳科学の見地から説いていました。

三月末に全校・全学級に電子黒板を導入しましたが、先生方は早く電子黒板を活用し、朝の反復学習と授業の効率化に繋がりたいと多くの先生方が積極的な姿勢を見せています。学校によっては早速にも校内研修で操作方法を学び、出てくることから進めていこうと考えている学校や、二十一年度中に

校内研修を開催し、操作方法を早く習得しようという学校もあり、先生方の気運が高まっております。教育委員会はその気運を大切に支援していきたいと考えております。それと、習熟度別にクラスを分けきめ細かな授業で学力の向上を図るために、単独で授業が持てる非常勤講師を町独自で配置します。中学校においては高校受験生を対象に放課後補習授業等を計画しています。

これらの取組計画を推進するにあたり、大切なのは、児童・生徒の基本姿勢を身に付けさせることだと考えております。基本姿勢とは、勉強道具を大切に。忘れ物をしない。板書された内容はノートにきちんと写す。疑問に思ったこと分らないことは質問する。

学習習慣や生活習慣の確立のために家庭のルールを設けるなど、それぞれが果たさなければならぬ役割があります。そのためには、家庭・学校・地域の連携や協力が図られることです。今後とも、教育委員会としても鋭意努めてまいります。

文責 宜野座 幸 男

（指導主事）

金武中

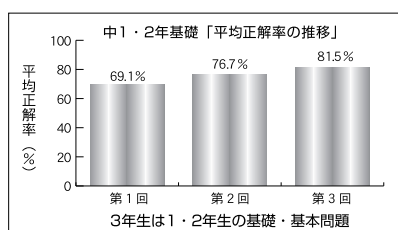
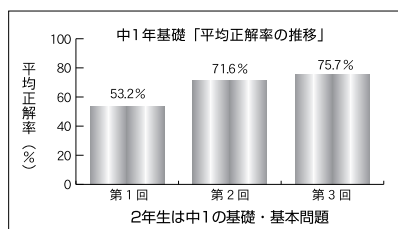
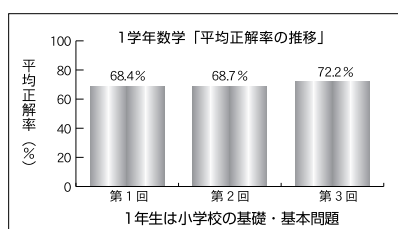
学力向上対策実践報告会

生徒一人一人に確かな学力などの生きる力を育む

2月10日(水)に本校の学力向上対策実践報告会がもたれました。5校時の授業参観の後に、体育館での各学年、各教科の生徒作品の展示・吹奏楽のアトラクション・英語ミュージカル・1年間の取り組み報告、生徒発表(意見発表・英語スピーチ、カポレイ中との交流)そして、地域発表(中川区子ども会の発表)と、中身の充実した報告会でした。(まるでミニ発表会のような感じでした)

その日は、授業参観も含めて来賓、保護者、地域の方々の参加人数は、105名でした。参加された皆さま、お忙しい中、本当にありがとうございました。感謝いたします。

確かな学力



確かな学力部会の取り組みを一部紹介します。左のグラフを見てください。数学の取り組みですが、1年生は小学校の基礎・基本となる計算問題を4月、7月、12月に繰り返し実施して、基礎力をつける取り組みを行いました。(2桁の整数の計算、かけ算九九、分数や少数の計算を取り入れました)

その結果、間違ったところの学習を繰り返すことで、平均正答率が上がってきました。

同じように、2年生、3年生も基礎・基本問題を繰り返すことで、平均正答率があがってきたことがわかります。

このように、基礎・基本事項に取り組むことで、生徒の意欲付け、及び学力向上を目指しました。

国語は、小学校の漢字からの取り組み、英語は1学年からの基礎・基本の取り組みを実施し、どちらも平均正答率がアップするという成果が見られました。

豊かな人間性

豊かな人間性部会の取組では、生徒会活動や総合的な学習の時間における生徒の実践が紹介されました。

○生徒会

- ・毎朝のあいさつ運動
- ・リサイクル運動(牛乳パックの回収)
- ・地域清掃(青年団との協力で地域清掃)
- ・美化委員会、広報委員会で学校の課題を投げかけ考えさせる取り組み

○総合的な学習(授業)

- ・1年生地域学習
- ・2年生職場体験学習
- ・3年生国際理解学習



生徒会活動や、生徒の体験学習を通して、自分の考えや意見を発表する力、自分達の問題を自分達で解決する力が身についてきた。

家庭学習を高める標語

- 「毎日の 勉強重ねて 夢実る」 山城文美 (3年)
- 「家庭学習 夢へと続く 道しるべ やってよかった やらずに後悔」 仲間文香 (1年)
- 「机の前 姿勢を正して 始めよう 夢につながる 第一歩」 喜友名久美 (3年)

あいさつができる標語

- 「あいさつは してもされても 気持ちいい」 石川真吾 (1年)
- 「あいさつが 言えるとなぜか HAPPYに！」 勢理客ゆか (2年)
- 「君のあいさつが 世界をかえる I LOVE あいさつ」 石川 嵐 (3年)



▲やった～！完食達成!!

金武中学校
二年三組

一年間

給食残量ゼロに達成

金武中学校の二年三組が一致団結し、一年間給食を残さない「フードロスゼロ計画(給食残量ゼロ)」を達成しました！担任の大道裕之先生にインタビューをしてきましたので掲載したいと思います。

Q フードロスゼロ計画を始めようと思ったきっかけは？

A 世界では、食べるものがない一日に約二万四千人(金武町の人口の二倍以上もの人)が餓死をしている中で、日本の学校では給食をたくさん残す勿体ない現状がある。そういったなかで、中学生がすぐにできることは、お金やものを送ったりすることよりも、まず食べ物を大事にすることだと考えこの取り組みを行うことにしました。

Q 苦労した点はありませんか？

A 好き嫌いのある子やアレルギーの子がいて続いているか心配でした。最初は、食べられない子の分はみんなで分担して食べていましたが、次第に苦手なものを克服するんだという意識が芽生え、自分で食べるようになっていきました。



▶達成するごとに
ふえていくシール♪

ていきました。また、十回達成するごとに私から生徒たちへデザートのご褒美をしたりして頑張りましたよ(笑)

Q この取り組みを通してよかったことは？

A 給食を残さないために、①給食準備が早くなった ②配膳が上手に丁寧になった ③食べ物大切に心がついた(食育) ④生ゴミ、残飯などの地球の工コに取り組むことができた ⑤担任や生徒間の人間関係がこの取り組みでひとつになることができた等多くのよい成果がみられるようになりました。

町内幼稚園、 小・中学校で 卒業式!!

三月のやわらかな春の陽射しの中、町内各幼稚園、小・中学校では卒業式が行われ、保護者や教職員から祝福を受けた園児・児童・生徒たちが晴れやかな表情で思い出の詰まった学び舎から巣立ちました。式の後は、父母や先生方と記念撮影をして名残を惜しむ姿が見られました。



嘉芸幼稚園



金武幼稚園



中川幼稚園



幼稚園皆出席

(金武幼稚園)

一組：

ひらかわ しゅうや
あふそ すず

二組：

ひがしおんな れん
いけはら ひでひと
やましろ あんり

三組：

みやぎ まひろ
ぎのざ つくし

(中川幼稚園)

ちばな じゅん

(嘉芸幼稚園)

ちばな かりん

小学校皆出席

(金武小学校)

小橋川 大輔

(中川小学校)

仲間 樹菜

金武中皆出席

(金武中学校)

一組：池原 日向

二組：安次富 絵理花

三組：島袋 友樹

四組：小渡 貴之



中川小学校



金武中学校



金武小学校



嘉芸小学校



第47回

沖繩教育版画
コンクール入賞者

特選:

我如古龍斗 (中川小四年)
照屋朋美 (中川小五年)

優秀:

上間梨代 (中川小四年)
新城龍飛 (中川小四年)
松田ありさ (中川小四年)
小橋川佳連 (中川小五年)

※紙面の都合上、特選、優秀賞の方のみ掲載しています。

第48回

全沖繩児童生徒
書き初め展入賞者

金賞

【金武小】

池原 ひなの (三年)
池原 はなこ (五年)

銀賞

【金武小】

宮城 まりや (一年)
比嘉 百亜 (三年)

【嘉芸小】

【中川小】

銅賞

【金武小】

久里 玲奈 (五年)

伊藝 旭 (二年)

糸村 昌記 (四年)

金城 美紅 (六年)

小橋川 佳連 (五年)

新嶋 希寅 (二年)

比嘉 夕依 (二年)

仲間 功也 (二年)

金城 妃奈乃 (二年)

伊芸 巧也 (二年)

宇江城 敬大 (二年)

比嘉 優斗 (三年)

宇久田 香歩 (三年)

仲間 恵太 (三年)

小波津 海太 (三年)

金城 克幸 (三年)

仲間 航大 (三年)

仲間 優美 (三年)

吉田 慎太郎 (三年)

奥間 義樹 (三年)

神山 久依 (四年)

砂川 隆軌 (四年)

稲田 優果 (四年)

比嘉 捺芽 (四年)

宮里 達弥 (四年)

嶋里 健人 (四年)

宮城 桃々花 (四年)

福本 海斗 (四年)

又吉 倭子 (五年)

久高 幸也 (六年)

寶彩 奈 (六年)

【嘉芸小】

いげい すすか (一年)

大内 翔斗 (三年)

上江洲 姿乃 (三年)

新垣 幸美 (三年)

島本 明日香 (三年)

新島 練真 (三年)

伊芸 響 (四年)

西平 真奈美 (五年)

前田 鈴香 (五年)

真喜志 香保 (五年)

新垣 亜津希 (六年)

島袋 桃緋 (六年)

伊東 麗亜 (六年)

赤山 日菜乃 (六年)

庄夏 澄乃 (六年)

伊東 麗里 (六年)

上江洲 凧志 (六年)

【中川小】

仲間 史弥 (五年)



取材を受け少し緊張



理事長の小濱さんと

ありがとうございました！

金武町子ども会育成連絡協議会主催による金武町子どもまつりでの収益全額六六、六九九円を二月九日（火）に子ども会シニアリーダーのメンバーがME SHサポートへ届けました。当

日は、テレビ局の取材が偶然にも入っていてシニアメンバーも取材を受けることとなりよい体験ができたと思います。みなさんの協力ありがとうございました。



スティックゲーム

国頭地区

ジュニア・リーダー研修



メインディッシュの
ローストチキン



去った2月20日（土）・21日（日）の1泊2日、名護青年の家で冬の国頭地区ジュニア・リーダー研修が行われました。金武町子ども会からも16名が参加し、今回の研修ではレクの進め方・野外活動（テントでの宿泊や自炊）など寒い中、他の市町村のジュニア・リーダー達と協力し有意義に研修を進めることが出来ました。



▲ 公演中の様子

2月12日(金)に中川小学校にてウニココ楽団による小公演が行われました。公演は、お話と音楽とその場で生まれる即興のお芝居とウニココ楽団オリジナルの読み聞かせでした。子ども達にとって興味深い公演となっており、静かに集中して聴く場面や面白くて笑い転げる場面など楽しい公演を披露してくれました。

ウニココ楽団 小公演会



▲ ウニココ楽団のメンバーのみなさん
左から・犬塚拓一郎さん(ミュージシャン)・上田真弓さん(役者)・岩木桃子さん(役者)

スポーツで不利にならない体をつくらう

二月十三日(土)に金武町立中央公民館中ホールにて、講師に伊是名力工氏をお招きしてスポーツ食育講演会を開催しました。約七十名の方が来場し、栄養の摂取方法について学びました。講演の内容は、「体格を大きくするにはたくさん食べる必要がある。ただたくさん食べるわけではなく、体に必要な栄養素、タンパク質、炭水化物、ビタミン、ミネラル、脂質などをバランスよく摂取することが大切。」や「運動によって壊れた筋肉はすぐに修復が始まるので、二十分以内に栄養を摂取(おにぎりなどを捕食)するほうが良い。」など、科学的な視点から栄養の摂取方法についてご指導いただきました。



講師の伊是名力工氏



講演会の様子
(中央公民館中ホール)



▶ 小学生の部
優勝国頭FCjr



▶ 一般の部
優勝金武クラブ



第32回 金武町

ミニサッカー大会

二月二十一日(日)に金武町営グラウンドにおいて、第三十二回金武町ミニサッカー大会が開催されました。町内外から、一般の部十八チーム、小学生の部七チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

金武クラブと石川高校Aの対戦となった一般の部決勝戦では、金武クラブが五対三で接戦を制し見事二連覇を成し遂げました。また、小学生の部では、金武クラブA対国頭村から参加の国頭FCjrの対決となり二対一で国頭FCjrが優勝に輝きました。

5回金武町 振 basketball フェスティバル



▲エキシビジョンマッチの様子



◀ 優勝した金武町体協

3月7日、金武町立体育館で第5回バスケットボールフェスティバルが行われました。

フェスティバルには町内外からバスケット愛好者が参加し熱戦を繰り広げました。

また、エキシビジョンマッチとして金武中学校男女バスケットボール部と宜野座中学校男女バスケットボール部が対戦し大会を盛り上げてくれました。

平成22年度 町立中央公民館 講座開講式、サークル紹介

のお知らせ

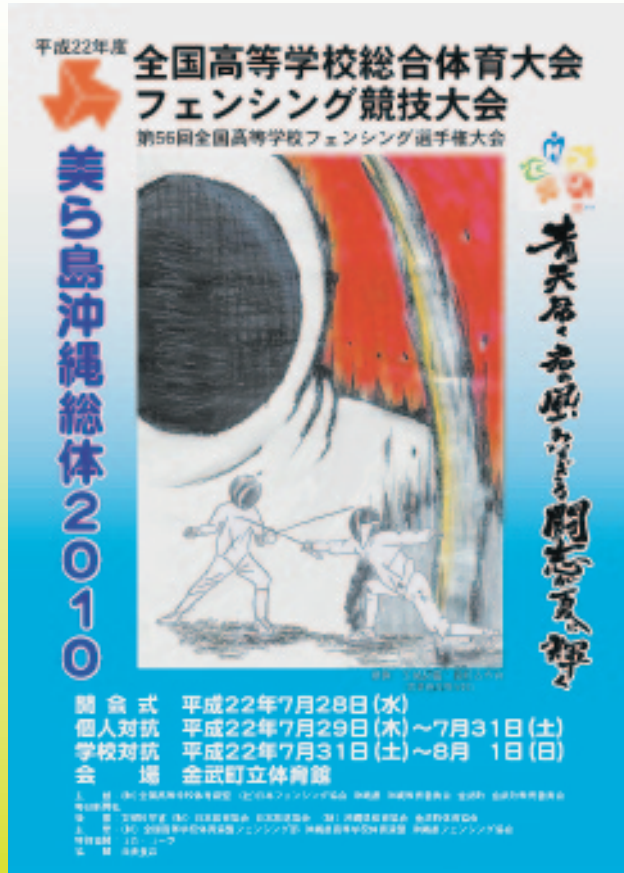
平成22年度中央公民館講座、サークル紹介を金武町立中央公民館大ホールで行います。中央公民館講座数30、サークル団体数が30と公民館運営はとても充実なものとなっています。

様々な講座、サークル活動がありますので、舞台発表後、自分が学びたい内容、興味がある方はご希望ください。

開催日時：平成22年4月21日(水)午後6時～
開催場所：金武町立中央公民館 大ホール
対象者：一般町民



平成21年度「中央公民館、サークル紹介より」



全国高校総体 ポスター

図案 表彰式

平成22年7月28日～8月1日に開催される全国高等学校総合体育大会にむけて、平成22年3月15日（月）に金武町役場ゆんたくルームにて、全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会ポスター図案表彰式が行われました。表彰式では金武町実行委員会会長儀武剛より宜野座高等学校1年生の玉城詩織さんと2年生の我如古令侍さんが表彰されました。今回の図案は二人の合作となっており、大会のポスターとプログラム表紙として使用します。



町民あげて大会を 成功させよう！！

編集後記

各校で学力向上対策実践報告会が開催されました。

昨年の課題を踏まえ、工夫・改善された報告会となりました。金武小で二人の保護者からの発表がございました。部活を通して、挨拶、話を聞く態度等、人間として大切なことを教えている。頑張りノートを通して家族が協力できること、学習している間はテレビを消す等、望ましい学習環境を築くために家族が協力し、子供の頑張りには褒め称え励ます等、部活の指導者として、家族の一員として出来ることを実践され責務を果たされておられるお二方に、感銘を受けました。家族は一人のために、一人は家族のためにをモットーに、各家庭できるところから実践してみませんか。